

# アスパラガス栽培管理(R7.11.)

(有) 丸 富

11 月は朝晩が冷えてきたものの、日中は暖かく、ハウス内は更に温度が上がって 30℃ 近くに。ダニやアザミウマなど害虫の発生が多かった。気温が高く、地温も高かったので、低温要求量を満たすのが遅れる見通し。

## 黄化促進

いつまでも暑いため、黄化が遅れている。寒さが厳しくなれば、黄化が徐々に進む。

黄化促進に**酸カル(又は、時を越えた贈り物) 1,000 倍**と**サンミネーラ 3,000 倍**を数回、葉面散布する。

## 貯蔵養分蓄積

できる限り低温に遭遇するよう、ハウス内の温度(地温)を下げて、貯蔵養分を蓄積する。

貯蔵養分蓄積に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**酸カル 2,000 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を防除時に混用する。

## 土づくり

お礼肥えは黄化を妨げず、窒素が残らないもの肥料を施用する。作物づくりは土づくりで決まる！と言うくらい大事なので、来期の土づくりのために、土壌分析などを行う。それを基に圃場に適した施肥設計を行う。

## 害虫対策

近日点では害虫の発生が多いため、害虫が越冬することがあるので。土づくり前にバーナー焼却(殺虫)を徹底して、害虫を抑制する。

害虫対策に**バイオアクト TS 50～100 cc／10a(又は、ストップ・雅 200～300 cc／10a)**を灌水する。

防除時は先ず上記を灌水し、害虫を追い出し、その後防除を行う。防除時に**バイオアクト TS 2000～3000 倍(又は、ストップ・雅 500～1,000 倍)**を混用する。

## 病害対策

葉が黄化し落葉したら、病害の発生が少ないよう、バーナー焼却(殺菌)によって、病害の発生を抑制する。

病害対策に**農業用植物マグマ 500g～1 kg／10a**と**ハイプロ 3～5 袋／10a**を土壌施肥する。

## 追肥(液肥)

土壌環境、並びに年数、根の働きによっても増減する。

**プロ液肥** 0.1～0.2 ℓ／10a

**時を越えた贈り物** 100～200 cc／10a

**サンミネーラ** 50 cc／10a

**バイオアクト TS(又はストップ・雅)** 50cc(100cc)／10a

5～10 日ごとに灌水する場合

※収穫量や土壌条件、天候によって  
加減する。

※サンミネーラの代わりにシリアップ 100～150 cc、シマロックス 500～1000 cc、夢源の雫 20～30 ccでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 0942 - 65 - 0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付) 携帯 090-3328-7603 (富松まで)